

日本人間関係学会第 33 回全国大会

「全国大会開催のご案内」

日程及び会場

日程：2025 年 9 月 13 日（土曜日）10：00～17：00

2025 年 9 月 14 日（日曜日） 9：00～16：00

「エクスカーション」（語り旅）：2025 年 9 月 12 日（金曜日）14：00～17：00

会場：京都橘大学（啓成館） 〒607-8175 京都市山科区大宅山田町 34 番地

「日本人間関係学会第 33 回全国大会発表等申込書及び参加申込書兼振込書について」

令和 7（2025）年度の日本人間関係学会全国大会は、ご案内のように山崎将文大会委員長のもと京都橘大学にて令和 7（2025）年 9 月 12 日（金）のエクスカーションを皮切りに、9 月 13 日（土）と 14 日（日）に開催されます。

つきましては、先ず、大会委員長のご挨拶とともに、会員の皆様に発表等の申込と参加申込兼振込のご案内をさせていただきます。

また、「全国大会プログラム」及び「発表要旨集」は、準備ができ次第、ホームページ上に掲載いたしますので、今しばらくお待ちください。

全国大会事務局

- [大会ポスター](#)
- [大会委員長のご挨拶](#)
- [発表等申込書](#)
- [第 33 回日本人間関係学会全国大会発表等要旨集原稿執筆要領](#)
- [参加申込書兼各種費用振込書](#)

日本人間関係学会第 33 回全国大会（京都橘大学）

テーマ「新たな人間関係の構築に向けて一人間の尊厳を問い直す―」

大会委員長のご挨拶

一般社団法人 日本人間関係学会
大会委員長 山崎将文（京都橘大学）

[大会テーマの趣旨説明]

従来から人間関係と言うと、人と人の関係であることに疑問をさしはさむ余地は全くありませんでした。ところが、最近、これに対して疑義が呈され始めています。というのは、人間関係にいう人のなかに、動物やA I も含まれるのではないかという主張がなされているからです。

動物について言えば、身近なところでは、ペットの犬や猫などを家族の一員とする動きがあります。例えば、小学校の家庭科の教科書で、ボクの家族としてペットを入れた図を載せたものが出版され注目を集めました。また、私の専門の法的観点からすると、アルゼンチンの連邦裁判所はオランウータンに人身保護令状をだしていますし、我が国の裁判所でもペット犬が事故で死んだ場合、加害者による飼い主の愛着利益（人格的価値）の侵害として慰謝料請求を認めています（動物のヒト化？）。

一方、A I について、カーツワイルは 2029 年に文章による対話で人間と A I の見分けがつかなくなり、2045 年にはクラウド上のバーチャルの神経細胞層と人間の脳が接続され（人間と A I の融合）、人間はいままでの数百万倍の計算能力、記憶力などを手にすることができるという未来予測をしました（シンギュラリティの到来）。法的な観点からは、A I を用いた意思決定やそれによって生じた事故についてのルールや責任について論じられ始めていますが、その中で A I に法人格を認めていくべきという意見が EU 議会で提案されたことがあります。わが国の民法では、権利の主体は、人（自然人）と法人としているがゆえに、A I が法人格をもつと、A I も権利主体の一つになります（A I のヒト化？）。

他方、肝心の人間はと言うと、人間関係の希薄化が指摘されています。家族関係、友人関係、学校・職場の人間関係、それに地域でのつながりなど、様々な場面で人間関係の希薄化がみられます。その原因はいろいろ考えられますが、例えば、IT や SNS の普及、核家族化や単身世帯の増加などの家族構成の変化、都市化、そして働き方の変化や生活様式の多様化、最近ではコロナ禍による社会活動の制限などが考えられます。

動物のヒト化や A I のヒト化及び人間関係の希薄化のような変化、いわば、「人間の相対化」が生じている現代社会において、改めて人間とは何か、とりわけ人間の尊厳とは何か問い直されていると言えるのではないのでしょうか。日本人間関係学会第 33 回大会のテーマを「新たな人間関係の構築に向けて一人間の尊厳を問い直す―」としたのは、このような理由によります。

[京都橘大学について]

ところで、大会が開催されます京都橘大学の前身は1902年に京都女子手藝学校として創立され、1967年に橘女子大学（文学部の単科大学）として開学されました。1988年に大学名を京都橘女子大学、2005年に男女共学化し大学名を京都橘大学に改称し、現在、9学部15学科を擁する中規模の総合大学となっています。来年度にはデジタルメディア学部、工学部ロボティクス学科、健康科学部臨床工学科の設置を目指しています。

また、大学キャンパスは、山科盆地を一望できる緑豊かな音羽山の麓にあり、全学部がこの地にコンパクトに集結しています。山科は山階とも書き中臣鎌足から始まる藤原氏との結びつきも強く、NHKの「ブラタモリ」で紹介されたように、京都と東日本をつなぐ交通の要衝でもあります。大学の周辺には、小野小町が晩年住んでいたといわれる随心院や、豊臣秀吉が行った「醍醐の花見」で有名な醍醐寺や、大石内蔵助の隠棲の地と伝えられる岩屋寺など歴史ある古刹が点在しています。

さらに、京都は794年の平安京の遷都以来、皇室とともに反映してきた長い歴史があります。全国大会の前日（9月12日金曜日）のエクスカーションでは、京都迎賓館のガイドツアーなども予定されています。

最後に、本大会が会員の皆様にとって有意義なものとなりますように大会委員一同、準備を進めて参ります。多くの皆様の全国大会へのご参加を心よりお待ち申し上げます。